

広報

かわもと

3
March.2023

No.
623

だから
こそ、
川本。

ホームページ <https://www.town.shimane-kawamoto.lg.jp/>

フェイスブック <https://www.facebook.com/town.kawamoto>



今月の主な内容

- 夢と可能性に挑戦する若人たち …P2～3
- 令和4年度「悠々大学」活動状況
……………P4～5

3月に町内の小中学校・高校で卒業式が行われました。それぞれがそれぞれの夢を持って、新たなステージへ進んでいきます。

(関連記事：2～3ページ)

夢と可能性に挑戦する若人たち

3月1日に島根中央高校の卒業式が行われ、67名の3年生が島根中央高校を巣立っていきました。その中で、川本町の「夢と可能性に挑戦する人財定住助成金事業」に申込み、自分の将来の展望や地域貢献への考え方を記した「自分計画書」の提出・発表を行った8名に、これからの進路などについて聞きました。

プロ野球のトレーナーに

伊藤 和純



川本町出身の伊藤さんは、高校では野球部に所属。仲間とともに甲子園を目指し練習してきた経験を糧に、大学へ進学後は、柔道整復師の資格を取得し、プロ野球のトレーナー、そして将来的には川本町での開業を目指します。町民の皆さんには「練習環境の整備など日々様々な面でサポートしてください。ありがとうございました。」と感謝の言葉を、後輩たちには「町民の方々への感謝の気持ちを忘れず甲子園を目指して頑張ってください。」とメッセージを残しました。

健康面から地域貢献

大澤 奏人



野球部に所属していた川本町出身の大澤さんは、県外へ進学。理学療法士の資格取得を目指し勉学に励みます。卒業後は川本に戻り、健康面や地域活動を通して川本を盛り上げたいと話しました。「川本町は町民のみなさんがいろんな面でたくさんさんの支援・サポートしてくださる町でした！4月からは、この川本町から離れますが、また川本町に帰ってきて恩返しできるように頑張りたいです。」と力強く将来の意気込みを述べました。

川本町の活性化に貢献

和泉 哲



高校進学を機に東京から来町した和泉さんは、高校ではボランティアなどで地域と関わる活動に取り組みました。コミュニティカフェ「あそラボ」で得た経験を胸に、大学進学後はまちづくりや、行政と住民との関わり方について学びたいとのこと。地域と関わる活動の中で、町民の方々の暖かさに触れました。将来は川本で、イベントの企画などを通して町と協力し、川本をより活性化できるような取り組みを行いたい。」と夢を語ってくれました。

島根県の安心安全を守る

奥羽場 杏里



「人を助けられるような仕事をした」と考えていた川本町出身の奥羽場さんは、高校卒業後は島根県警察に就職。事務職員として活躍されます。目標は、「県民の方から信頼される警察職員になり、島根県の安心安全を守ること。」と話し、「高校卒業までたくさんの方々の支えがあり、充実した学校生活を送ることができました。この川本町で過ごした日々を忘れず、私を育ててくれた川本町に恩返しができるよう頑張ります。」と感謝の言葉を述べました。

消防の面から町の魅力の下支えを

梶 温紀



「普段の学校生活で友達と楽しく過ごした日々が思い出に残っている」と話す川本町出身の梶さんは、「子どもの頃からお世話になった町や地域の皆さんに安心安全に暮らしてもらいたい」という思いを胸に、消防士の道へ進みます。町民の皆さんへ、「今までの成長を温かく見守ってくてくださいありがとうございます。これからは私が皆さんを支える側になるので、よろしくお願いします。」と、頼もしい意気込みを語ってくれました。

海外から来られた方との架け橋に

北山 百花



町の検定助成制度を活用したり、ALTと積極的に会話したりと、これまで自身の語学力を高めてきた川本町出身の北山さんは、さらに語学についての理解を深めるため大学へ進学します。過疎地域では、外国人が孤立しやすくなってしまいう実態を受け、将来は町と外国人との懸け橋になりたいとのこと。町民の皆さんへ、「たくさんの優しい方たちが支えてくれたおかげで成長することができた。将来少しでも恩返ししたい。」と、感謝と意気込みを述べました。

川本のスポーツの発展に尽力

河田 晃太郎



「部活動では辛いことが沢山あったけど最後はみんなで笑って終われたことが思い出」と話す川本町出身の河田さん。大学では、スポーツの専門的なことを学び、将来、川本で体験してきた体を動かすことの楽しさを小さい子たちに教えるという、川本のスポーツの発展に取り組み夢を語ってくれました。後輩たちへ、「支援・応援をしてくれる方が沢山いらっしゃる川本への感謝を忘れずに頑張ってください。」とメッセージを送りました。

みんなが健康で元気に過ごせるように

名原 かのん



「コロナ禍でみんなを楽しませたいという思いで、文化祭で歌を歌ったことが高校時代印象に残った思い出」と話したのは、川本町出身の名原さん。大学で健康・スポーツ・福祉について学び、将来は健康運動指導士として、町民全員が健康で元気に過ごせるように支えたいという夢を持っています。「18年間過ごした川本町を離れることはとても寂しいですが、また帰ってきます。」と、慣れ親しんだ故郷への思いを語ってくれました。

この度、島根中央高校を巣立つ67名の新たな舞台での活躍をお祈り申し上げます。

●夢と可能性に挑戦する人財定住助成金事業とは

将来川本で地域に貢献したいという夢を持つ、町内出身の高校生又は島根中央高校生を対象とした、「夢と可能性に挑戦する人材」を応援する事業。

高校卒業年次に、自分の将来の展望や地域貢献への考え方を記載した自分計画書を提出・発表し、町が認定。認定者が将来川本に定住した場合、一定の要件に応じて「定住助成金」又は「奨学金の返還助成金」が交付される。

【問】 まちづくり推進課 ☎72-0634

令和4年度「悠々大学」活動状況について

悠々大学では、50歳以上の町民を対象に教養・趣味・健康に関する体験活動を6月に開講し、年8回講座を実施しました。

今年度は、27人の方が参加され、体力づくりや施設見学等、様々な活動を通じて、参加者同士の親睦を深めたり、自身の生涯学習の一助としていただいたり、とても有意義な時間を過ごしていただきました。

2月16日(木)に閉講式を迎え、今年度の全講座は終了しましたが、令和5年度も予定していますので、ご興味のある方はぜひご参加ください。

令和4年度 活動紹介

6/16

開講式、川本町ふるさとカルタで楽しもう！



開講式にあわせ、昨年度一般の方からも読み札を募集した「川本町ふるさとカルタ」が完成し、グループにわかれカルタ大会を行いました。町のことも知らないことがあったり、改めて町の良さを感じたり、町のPRとして活用。特に小学生に知ってもらいたいと期待する声がたくさんあがりました。

7/21

「邑智クリーンセンター」施設見学



昨年度は、建設中の新可燃ごみ共同施設を見学しました。今年度は、完成し稼働している状況で施設内を見学し、毎日どれくらいのごみを処理しているか、どれくらいの量が運搬されているかを知ることができました。ごみを出す側として、出し方(分別方法等)を考える機会にもなりました。

9/16

終活について考える講座



エンディングノートを活用し、相続登記の制度改正に伴う手続きの義務化の流れ等を学びました。相続に限らず、普段飲んでいる薬や加入している保険など、ちょっとしたことでも書き留めておく必要があると感じ、少しずつでも整理するきっかけになったと思います。

10/20

体力測定会



スポーツ庁からの委託事業として、体力・運動能力テストを実施しました。受講生のみなさんには、65歳以上の調査内容に基づき、握力、上体起こし、長座体前屈等を測定し、自身の運動能力を把握して、今後の体力づくりの参考としてもらいました。毎年受けることで体力が維持できているか確認することにもなります。

11/17 フットケア・ 転倒防止のための足づくり



講話として、爪の切り方・足の洗い方・靴の選び方等を、実践として、足の指体操・靴紐の締め方等を、短い時間ではありましたが、楽しい雰囲気の中に行いました。講義後、「自分の足に合わせ靴を買うことができ足具合が良い」という声もありました。

12/14 笑いヨガ



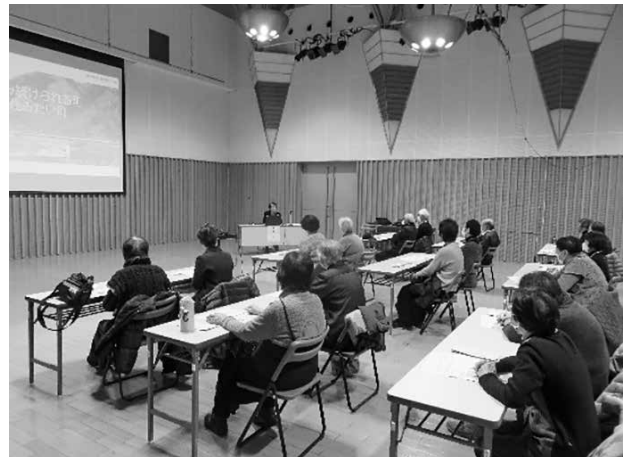
昨年度は、「笑うことで免疫力をあげる」をテーマに、落語家の春雨や落雷氏を講師にお招きし、講演会を行いました。今回は実践として、笑いヨガを実施し、手のツボを押しながら、または、かかと落としをしながら笑うなどメニューがたくさんあり、日頃からできるものばかりでした。ただ、「笑ってください」と言われてもなかなかできず、まわりで笑いが起きると自然に自分も笑いに引き込まれ、楽しい雰囲気になりました。

1/19 大人の塗り絵講座



大人の塗り絵コンクールの出品にあわせ、大学生を講師に招き、塗り絵のテクニック等をアドバイスしてもらいながら、楽しい雰囲気で行いました。受講生からは、「これまで塗り絵をする機会がなく、よかった」、「自分を忘れ集中できる時間が持てた」、また、「時間が足りなかった」や「もう少し知りたくなった」とさらに学びたいという声がありました。

2/16 閉講式、健康講演会「たすけあい川本」の活動紹介



活動について、「暮らしの保健室」、生活の困りごと等を支援する事業、各地区で住民が主体的に活動しているサロン事業を説明されました。受講生からは、「助け合いの気持ちがあるが、行動に移すことができていない」や「自分も参加したい」等、参加・協力したい気持ちに意識が変わった人や、「川本でこのようなことを立ち上げる人がいるとはびっくり」と活動を知らない人もおられ、普及啓発につながりました。

最後には、6回以上出席した受講生へ修了証書を渡し、今年度の活動を終わりました。

行政手続における押印等を見直します

町では、行政手続における手続きの簡素合理化及び町民の皆さまの負担軽減を図るとともに、今後の申請書等の電子化・ペーパーレス化等の推進のため、各種申請書や届出書等に求めていた押印及び署名の見直しを進めています。



■見直し方針

原則として、町に提出いただく申請書、届出書等への認印の押印を不要とします。

既に記名（パソコン等で印字）されている申請書については、署名も不要とします。

※押印不要の代替として、本人による署名や本人確認（マイナンバーカードや運転免許証の提示など）を求める場合があります。

■対象となる行政手続

町の規則や要綱等で押印及び署名を求めている申請書や届出書などです。（現在町が受付ける手続の約8割（892手続）が対象）

■引き続き押印等が必要な手続

次の手続きについては、引き続き押印等を必要とします。

- 提出者の実印による押印を要するもの
- 入札書、見積書、請求書、領収書等
- 誓約書、同意書又はこれに類する書類
- 契約書、協定書等

■実施時期

認印の押印等を不要とする取り扱いは、令和5年4月1日から実施し、その後も随時見直しを行います。

具体的な手続き一覧は、町の公式ホームページに掲載します。

【問】 総務財政課 ☎72-0631

行政手続きのオンライン申請の取組について

■オンライン申請とは？

オンライン申請とは、PCやスマートフォンを活用し、いつでも、どこでも役場に来庁することなく、行政手続きの申請が行える仕組みです。町では、役場に来庁することなく、手続きができる「オンライン申請」の取組を推進しています。

| | |
|----------------|---------------|
| これまでの手続きの方法 | 役場に来庁・郵送で手続き |
| オンライン申請での手続き方法 | いつでも、どこでも申請可能 |

※従来どおり、来庁や郵送での手続きも引き続き可能です。

■オンライン申請に必要なもの

| | |
|--------------|----------------------------------|
| 必ず必要なもの | インターネットに接続できるパソコンやスマートフォン、タブレット等 |
| 手続きによって必要なもの | メールアドレス、マイナンバーカード等 |

■オンライン申請できる手続き

左のページを参照

※順次オンライン申請できる手続きを増やしていきます。

■オンライン申請での手続き方法

- ①右記QRコード又は下記URLから町ホームページへアクセス

<https://www.town.shimane-kawamoto.lg.jp/category/online-shinsei/>
又は各事業のチラシに添付しているQRコードを読み取る。



- ②オンライン申請する手続きを選択

島根電子申請サービス又はマイナポータルに移動します。

- ③手続きの実施

登録されている申請用フォームに沿って手続きをします。手続きの際には、メールアドレスの登録やマイナンバーカードでの認証が必要になる場合があります。

- ④手続きの完了

不備等あれば、電話、メール等でお問合せをします。

【問】 まちづくり推進課 ☎72-0634

オンライン申請できる手続き

●しまね電子申請サービスを利用する手続き ※公開開始中

総務財政課

- ・町有財産の使用申込み
- ・防災無線の申込み
- ・職員採用試験の申込み（試験時に公開）

町民生活課

- ・犬の登録申請及び犬の死亡届
- ・選挙の不在者投票用紙等の請求（選挙時に公開）

健康福祉課

- ・新型コロナウイルス感染症抗原定性検査申込
- ・検診の申込み

まちづくり推進課

- ・まげなねっとの申込み（TV・電話・インターネット）
- ・三原まちづくりセンターの利用申込み

地域整備課

- ・水道使用開始届
- ・集落排水の申込み
- ・道路占用許可申請等
- ・道路通行規制の申請
- ・占用工事着手届・完了届

教育課

- ・悠邑ふるさと会館、西公民館、町民球場、町民体育館等の利用申込み

全 般

- ・研修・講習・各種イベント等の申込み

●マイナポータルを利用する手続き

開始日：ア. 子育て関係、イ. 介護関係は令和5年4月1日から開始予定
ウ. 転入・転出関係は令和5年2月6日から開始

ア. 子育て関係

- ・児童手当等の受給資格及び児童手当の額についての認定請求
- ・児童手当等の額の改定の請求及び届出
- ・氏名変更／住所変更等の届出
- ・受給事由消滅の届出
- ・未支払の児童手当等の請求
- ・児童手当等に係る寄附の申出
- ・児童手当に係る寄附変更等の申出
- ・受給資格者の申出による学校給食費等の徴収等の申出
- ・受給資格者の申出による学校給食費等の徴収等の変更等の申出
- ・支給認定の申請
- ・保育施設等の利用申込
- ・保育施設等の現況届
- ・児童扶養手当の現況届の事前送信
- ・妊娠の届出

イ. 介護関係

- ・要介護・要支援認定の申請
- ・要介護・要支援更新認定の申請
- ・要介護・要支援状態区分変更認定の申請
- ・居宅（介護予防）サービス計画作成（変更）依頼の届出
- ・介護保険負担割合証の再交付申請
- ・被保険者証の再交付申請
- ・高額介護（予防）サービス費の支給申請
- ・介護保険負担限度額認定申請
- ・住所移転後の要介護・要支援認定申請

ウ. 転入・転出関係

- ・転出届、転入予約の手続き

●その他サービス

- ・図書館の図書貸出予約（かわもと図書館HP）



江津邑智消防組合からのお知らせ

「火災注意報」の発令について

昨年、江津邑智消防組合管内では、33件の火災が発生しました。特に10月から12月には14件発生し、前年の同時期に比べ約5倍の増加となりました。このことから、当消防組合では火災予防を目的に、気象台から発表される火災気象通報に併せて、「火災注意報」を発令し、住民の皆様にお知らせします。

「火災注意報」とは、気象条件、時節、地域環境等を鑑み、火災予防上必要があると思われる場合に消防署長が発令するものです。発令の際は、各消防署、出張所の掲示板に「火災注意報発令中」と掲示し、消防組合ホームページ、消防車両によって住民の皆様へ火災予防の呼びかけを行います。発令中は、「草焼き」等の火を取り扱う行為は控えていただくようお願いいたします。ご理解とご協力をお願いします。



令和5年4月1日から

自転車ヘルメットの着用が努力義務になります

【川本警察署からのお知らせ】

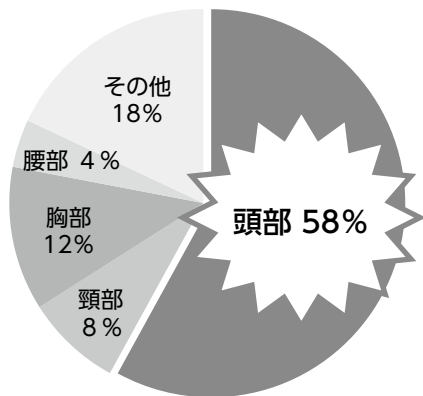
●ヘルメットで安全をプラス！

自転車乗用中の交通事故で亡くなられた方は、約6割が**頭部に致命傷**を負っています。



※動画でヘルメットの効果を確認できます。

自転車乗用中の交通事故の被害を軽減するためには、頭部を保護することがとても大切です。自転車に乗るときは、ヘルメットの着用を心がけましょう。



自転車乗車中死者の人身損傷主部位（致命傷の部位）（全国統計：平成29年～令和3年）

人権相談所の開設

法務大臣から委嘱された人権擁護委員による人権相談所を開設します。

家庭内の問題や近所間のもめごと、いじめ、体罰など、人権に関する心配ごとや困りごとなどがあれば、お気軽にご相談ください。相談は無料で、秘密は固く守られます。

【人権擁護委員（敬称略）】

木村 慶五、市原 和正
上田 香苗、原田 敏子

行政相談所の開設

毎日の暮らしの中で、道路や河川、土地の登記、社会福祉、医療・年金など、どこに相談して良いかわからない、国や行政機関に対する手続きで困っている、といったことはありませんか？

このような問題について、総務大臣から委嘱された行政相談委員が、相談や苦情、ご意見を受け付け、公正中立な立場から、相談者への助言や行政など関係機関に改善の申し入れなどを行います。

相談は無料です。お気軽にご相談ください。

令和5年度の日程

月日

6月6日（火）・8月1日（火）
12月5日（火）・2月6日（火）

時間

13:00～16:00

会場

ハローワーク川本

【行政相談委員（敬称略）】

森川 和友

令和5年度の日程

月日

4月12日（水）・6月14日（水）
8月23日（水）・10月11日（水）
12月13日（水）・2月14日（水）

時間

10:00～12:00

会場

悠邑ふるさと会館 中会議室

出産・子育て応援事業について

国において、妊娠時から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援と経済的支援を一体として実施する事業が創設されました。これを受け、川本町のすべての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう、伴走型相談支援と経済的支援（妊娠時5万円、出産時5万円）を一体的に実施する「出産・子育て応援事業」を、令和5年2月から開始しました。

対象者

川本町に住所があり、次のいずれかに当てはまる方

- (1) 令和4年4月1日以降に妊娠届出を提出した妊婦
- (2) 令和4年4月1日以降に出生した子どもの養育者

支給時期

申請書の受付後、概ね2週間程度

【問】健康福祉課 ☎72-10633



●ギフトの種類と申請について

| 対象者 | ギフトの種類 | 申請時期 | 申請までに必要なこと |
|-----|---------------------------|---------------------------|--|
| 妊婦 | 出産応援ギフト (妊婦1人あたり5万円) | 妊娠届出時の 面談実施後 | ①妊娠の届出をする。 ②アンケートを記入し、保健師と面談をする。 ③出産応援ギフト申請書を提出する。 (妊娠届出後、流産・死産された方も、出産応援ギフトの対象となります) |
| 養育者 | 子育て応援ギフト (子ども1人あたり5万円) | 出生届～ 赤ちゃん訪問時の 面談実施後 | ①出生届出時または赤ちゃん訪問時、アンケートを記入し保健師と面談をする。 ②子育て応援ギフト申請書を提出する。 |

※令和5年2月以前に対象者に該当する方については役場より申請手続きについて個別に案内を発送しています。

国民年金「学生納付特例制度」について

学生納付特例制度とは

20歳以上の学生の方について、申請により在学中の国民年金保険料の納付が猶予される制度です。猶予される期間は、申請された年の4月～翌年3月までの1年間です。(既に納付された場合は、特例期間に含まれません)

なお、申請は過去に遡ってすることができません。(申請時点から2年1か月前まで)

学生納付特例制度のメリット

- ・病気やけがで障害が残ったとき、障害基礎年金の算定に含めることができる
- ・年金を受け取るための必要な期間(受給資格期間)に算入される(ただし、年金受給額には反映されません)

保険料の納付を行わず、また特例制度も活用しなかった場合は、『未納』扱いとなり、『老齢基礎年金』『障害・遺族基礎年金』の受給資格期間に算入されず、年金受給額が少なくなります。

対象者

大学(大学院)、短期大学、高等学校、高等専門学校、特別支援学校、専修学校及び各種学校(修業年限が1年以上である課程)に在学する学生の方(夜間・定時制・通信制課程含む)

※ご本人の前年所得が基準以下(12

8万円+扶養親族等の数×38万円+社会保険料控除等)の方に限り
手続き方法

※役場町民生活課又は年金事務所窓口(できるだけ4月末までに)

【初めて申請される方】

持参するもの①年金手帳または基礎年金番号通知書、②学生証(コピー可。両面ある場合は両面の写し)又は在学証明書の原本

【20歳時に提出済で

次年度も在学予定の場合】

今年度学生納付特例が承認された方で、翌年度も同じ学校に在学する方は、日本年金機構から4月頃に申請の用紙が送付されます。引き続き学生であれば必要事項を記入し、返送することで申請ができます。

追納について

学生納付特例により猶予された国民年金保険料は、10年以内(例えば令和5年4月分は令和15年4月末まで)であれば納めること(追納)ができます。詳しくは左記連絡先までお問い合わせください。

【問】町民生活課

☎72-10632

浜田年金事務所

☎0855-22-10670

川本小学校だより



なわとび集会

2月16日(木)、なわとび集会がありました。子どもたちは、体育の時間や休憩時間に練習に取り組んできました。個人や学級のめあてを達成できるように頑張った結果、多くの子どもたちが自己記録を更新することができました。



6年生を送る会

3月1日(水)、5年生の企画・運営で、6年生を送る会を行いました。縦割り班に分かれてのゲーム

(ランキングクイズ、写真撮影、○×クイズ等)や思い出の写真等、とても楽しく、思い出に残る会になりました。



川本中学校だより



川本中学校卒業証書授与式

3月11日(土)に、令和四年度川本中学校卒業証書授与式が挙行され、17名の卒業生がそれぞれの進路へ向け巣立っていきましました。厳かながらも温かな雰囲気の中行われた

式では、在校生送辞を生徒会副会長の服部永和さんが、卒業生答辞を生徒会長を務めた井手菜々美さんが読み上げました。



令和四年度卒業式

14期生67名が母校を巣立つ



3月1日（水）厳粛でありながら温かい雰囲気の中、卒業生は成長した立派な姿を見せ、母校を巣立っていきました。前年までは卒業生と保護者の皆様、教職員で行いましたが、今年は野坂町長様はじめ来賓や在校生も参列し、卒業生を見送りました。卒業生を代表して篠田理玖さん（東京都出身）が卒業証書を受け取り、在校生代表として折原菜穂さん（静岡県出身）が送辞を述べました。また湯浅あゆみさん（巨智中出身）は答辞において、コロナ禍のため3回に分散した入学式になってしまったこと、1年生の時の遠足が中止になり友情を育むことが難しかったが学園祭の活動を通して仲良くなれたこと、家庭クラブの新規企画づくりが大変だったがそれだけ達成感も大きかったことなどを述べました。

保護者の皆様、まち親の皆様をはじめとした卒業生を支えてくださった皆様、これまで生徒の成

長を温かく見守り、支えていただきありがとうございます。次は川本町出身の卒業生の皆さんの3年間で振り返っての感想と今後の抱負です。

【奥羽場杏里さん】

島根中央高校で様々な場所から来た人との関わり、勉強や部活動を通して自分自身成長できました。コロナ禍で多くのことが制限されて3年間苦しい思いをしたこともありましたが、友達、先生また地域の方々のサポートがあつて充実した学校生活を送ることができたことに本当に感謝しています。これからも出会いを大切に頑張っていきたいです。

【梶 温紀さん】

私が3年間で一番大変だったことは部活動です。男子硬式野球部の激しい練習に毎日耐えただおかげで人間力が身に付き、仲間と楽しく過ごすことができました。先生方、友達みんな、地域の皆様、そして18年間不自由なく育ててくれた家族には感謝の言葉しかありません。4月からは川本町に残り消防士として働きます。精一杯頑張りますので宜しくお願い致します。

【河田晃太郎さん】

3年間で一番努力したことは部活動です。甲子園出場を目標に毎日練習をしてきました。最後の大会では思うような結果は得られませんが、仲間との日々は良い思い出いっぱいあります。これまでも練習できたのは家族や町の人たちのおかげです。4月からは大学へ行き、スポーツ指導者を目指して研鑽を積みま

す。将来は川本町に帰り、恩返しができるように頑張ります。

【松下瑞季さん】

この3年間で振り返ると、コロナウイルスによる制限がある学校生活でした。しかし素敵な同級生、先生方、保護者の皆様、地域の方々に支えられて充実した3年間で過ごすことができました。コロナ禍で駆け抜けた3年間は楽しいことばかりではありませんでしたが、島根中央高校に入学しなければ出会えなかった仲間と出合い、今となっては大きな財産となっています。今後はそれぞれの道に進むことになるけれど、目標を持ち続け、出合いを大切にし、お互いがレベルアップしてまた再会できるよう頑張りたいです。

まちごとキャンパス学習
学習成果を発表しました

3月3日（金）3年ぶりにまちごとキャンパス学習成果発表会を開催し、事業所の現状・課題と解決案を発表しました。生徒たちは緊張した面持ちでしたが、自分の意見を堂々と発表しました。ご協力いただいた皆様ありがとうございます。



ぶっくん だより

2023年
3月号

No.310



かわもと図書館

電話 0855-72-0025 Fax 0855-72-1061

開館時間：9時～18時 土日9時～17時

休館日：火曜日・祝日・月末整理日・年末年始

4月の展示テーマ

《一般書》

はじめてみませんか ガーデニング

本屋大賞（4月発表！）

受賞作、ノミネート作を展示します。

ベストリーダー

（R4年10月～R5年3月）



《児童書》

ともだち

「ともだち」をテーマにした絵本
や読み物の展示をします。



掲示板

♪ あそびのひろば&えほんのじかん

4月14日（金）10：00～11：30

読み語り 移動図書館

場所 悠邑ふるさと会館 和室

春のわくわくおはなし会

4月5日（水）10：30～11：00

内容 絵本の読み聞かせ
パネルシアター
作ってあそぼう！
ニュースポーツ

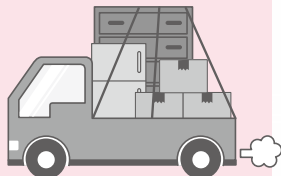
場所 悠邑ふるさと会館マルチホール

★おたのしみ袋貸出します。

お知らせ

引越シーズンとなりました。
転勤等で川本町から転居される方は図書館までご連絡ください。

また、住所・氏名・電話番号など登録内容に変更のある方もご連絡ください。



その他多数あります。

新刊案内 おすすめの一冊

一般書

よき時を思う

宮本輝著
集英社

歌枕殺人事件

内田康夫著
実業之日本社

不思議カフェ
NEKOMIMI

村山早紀著
小学館

固結び

山本一力著
文藝春秋

あかあかや明恵

梓澤要著
新潮社刊

いちごの
お菓子づくり

今井ようこ著
藤沢かえど著
誠文堂新光社

児童書

こつちとあつち

谷川俊太郎文
樋勝朋巳絵
クレヨンハウス

とんでやすんで
かんがえて…

五味太郎作
偕成社

いちねんせいえほん

高濱正伸監修
林ユミ絵
日本図書センター

どうやってできるの？
チヨコレット

ひさかたチャイルド
5年2組ふしぎだね

吉野万理子作
佐藤真紀子絵
静山社

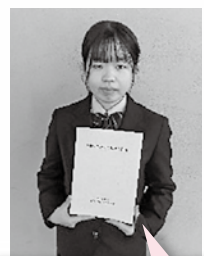
やぎさんのさんぽ

juno作
福音館書店

川本町の戦争体験記後世に伝える 「高校生が聞いた 戦争の記憶」発行

将来社会学を学ぶことを志している、島根中央高校の新聞部の生徒の活動を冊子にしました。この戦争の記憶をひとりでも多くの方に読んでいただきたいと思います。

かわもと図書館で貸出できますのでご利用ください。



大学に行っても、本にまともしてもらえないような研究成果をあげたい。

川本町立学校のあり方意見交換会を開催しました。

開催日時

1月23日 川本西公民館
2月3日 悠邑ふるさと会
館マルチホール

概要

各会場では、「学校と地域との結びつきによる地域づくり」「学校の位置」をテーマに意見交換会を開催しました。

皆さんからのご意見（抜粋）

学校と地域との結びつきによる地域づくり

- 地域と子どもがかかわりながら勉強する環境づくりは大事。
- 川本へのつながりづくりを進めるために、地域の特色を生かした経験を子どもにさせてほしい。

- 学校と地域とかがわり合いを描いていく構想は？

—現在の学校と地域のつながりを持続するために、

学校と地域（個人、団体等）をつないでいく推進員を配置して、地域学校協働活動を組織的に取り組んでいきたい。

- 子どもの自立、自主性を育てる事や習い事をする場合に、交通手段というのは大きなポイント。
- 「あそラボ」とは？

—川本にある「カフェオレンジ」を活動拠点として、中学生、高校生が自分のやりたいことを実現していくという目的のために作られている居場所。

- 「あそラボ」は非常によい取り組みをしていると思うが、地域にどれだけの理解があるのか不明。地域に活動内容を知ってもらった方がよい。

学校の位置について

- 学校施設の維持管理費が多額となる見込みの中で、建て替えが必要と感じる。子どもたちに新しい環境の学校施設を整えてあげたい。

- 小学校、中学校が同じ教育目標をもって取り組んでいくのであれば、小学校・中学校が近くに位置する方が、メリットがある。

- 小学校、中学校、高校が近くにある、大学のようなキャンパスみたいな学校区域のイメージがもてるとうい。

その他の意見

- 大人が思う理想の子ども像などがあるが、必要なのは誰も取り残さないで、勉強をやりたい子が勉強できる、スポーツをやりたい子がスポーツできる、それ以外に興味があったらそれに挑戦できる、という当たり前の環境を整えることが一番大事。
- 移住してくる子育て世代は、教育カリキュラムのよさ、教育環境に魅力に着目する。

意見交換会にご参加いただきありがとうございました。
今後、川本町立学校のあり方検討委員会において、参加された皆さんからいただきましたご意見を踏まえながら、協議を進めてまいります。

令和4年度

社会教育・社会体育貢献者表彰

●島根県社会教育委員表彰

本町社会教育委員として、21年の永きにわたり本県社会教育のために尽力し、その功績が顕著であったことから表彰されました。



岡田耕作さん

●島根県スポーツ推進委員協議会功労表彰

スポーツ推進委員として10

年以上にわたり、各種スポーツ事業の実技指導及び企画等に尽力

し、地域のスポーツの推進に顕著な功績をあげたと認められたことから表彰されました。



三宅康二さん



青木和昭さん

かわもとジュニアバレーボールクラブ

島根県小学生バレーボール新人大会

県ベスト8



2月26日に鹿島総合体育館で行われた第22回島根県小学生バレーボール新人大会に、かわもとジュニアバレーボールクラブが出場しました。5年生が中心の新チームで臨んだ初めての県大会でしたが、松江南に敗れ、ベスト8となりました。目標としていた県大会優勝とはなりませんでしたが、石見地区1位代表として堂々と戦いました。

島根県最低賃金改定のお知らせ

島根県内の事業場で働くみなさんの最低賃金が改定されました。

| 件名 | 時間額 | 引上額 | 発効日 |
|---------|-----------------------------------|---------------------------------------|--------------------|
| 島根県最低賃金 | 857円 | 33円 | 令和4年10月5日 |
| 特定最低賃金 | 製鋼・製鋼圧延業、鉄素形材製造業 | 33円 | 987円 令和4年11月30日 |
| | はん用機械器具、生産用機械、器具、業務用機械器具製造業 | 33円 | 963円 令和4年12月22日 |
| | 電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業 | 29円 | 882円 令和4年12月18日 |
| | 自動車・同附属品製造業 | 32円 | 951円 令和4年12月28日 |
| | 百貨店、総合スーパー | 令和4年10月5日から島根県最低賃金（時間額857円）が適用されています。 | |
| | 自動車（新車）小売業 | 28円 | 932円 令和4年12月11日 |

【問】島根労働局賃金室（松江市向島町134-10 松江地方合同庁舎5階） ☎0852-31-1158

広げよう 事故ゼロかわもとの 思いやり

| 飲酒 | 物損 | 死傷者 | 人身 | |
|----------|------------|----------|----------|-----------|
| 0 (0) | 12 (3) | 0 (0) | 0 (0) | 川本町 |
| 0 (0) | 16 (13) | 1 (0) | 1 (0) | 川本町 累計 |
| 0 (0) | 42 (29) | 1 (0) | 1 (1) | 郡内 月計 |

※()内は前年同月数

◇交通事故・違反発生状況
(令和5年2月末)

島根県ナースセンターでは、就業を希望している看護職に対して、求人情報の提供および就業の斡旋、就業のために必要な相談および研修などを行っています。今年度も左記のとおり移動ナースバンク（就業相談会）を予定しております。

【会場】ハローワーク石見大田
(大田市大田町大田ロ118211)
【日時】毎月第4水曜日 13:30～16:00 ※12月は第3水曜日
島根県ナースセンター ☎085521718510

島根県ナースセンター
公益社団法人島根県看護協会

お知らせ

2023年度移動ナースバンク
(就業相談会)開催



安伸有限会社



Restaurant

Hotel



Pool

休日 レストラン 日 月 火
プール 火
島根県邑智郡川本町川本332-13
TEL0855-72-3080 FAX0855-72-3084

くらしの情報カレンダー 4月

※新型コロナウイルス感染症の状況により予定が変更となる場合があります。

日 月 火 水 木 金 土

3月の納税

- ◆ 国民健康保険税
- ◆ 後期高齢者医療保険料

4月の納税

- ◆ 固定資産税
- ◆ 国民健康保険税
- ◆ 後期高齢者医療保険料

※必ず納期限までに納めましょう。

28 悠休館日
悠休館日

29

30

31 悠休館日

1



7日、14日、22日、28日のマイナンバーカード時間外・休日受取窓口のご利用には、前日までに予約が必要です。【予約・問】町民生活課 ☎72-0632

2

観 さくらレールバイク (因原駅)

診 邑智病院
大隅医院

3

三 かん・ピン・新聞・雑誌・段ボール・不燃ごみ(A地域)

4

三 かん・ピン・新聞・雑誌・段ボール・不燃ごみ(B地域)

5

三 かん・ピン・新聞・雑誌・段ボール・不燃ごみ(C地域)

6

7

マ マイナンバーカード時間外受取窓口 (要予約) 17:30~19:00

8

9

診 前眼科医院
波多野診療所

10

11

学 川本小学校 入学式
学 川本中学校 入学式

12

あ いさつの日
教 コーヒーの日 (PM:西公民館)

13

健 乳幼児健診 (午後:3歳児以下)

14

マ マイナンバーカード時間外受取窓口 (要予約) 17:30~19:00

15

観 天空の朝ごはん (丸山城跡)

16

三 邑智クリーンセンター直接搬入 (一般家庭ごみ) 9:00~16:00
教 K-POP事業「たけのこ掘り体験 & 子育てトーク」
診 三上医院
加藤病院

17

18

食 育の日
健/サ あそびのひろば & 乳幼児相談 10:00~11:30 (悠邑ふるさと会館)
健 健康相談 11:00~11:30 (悠邑ふるさと会館)

19

20

21

22

マ マイナンバーカード休日受取窓口 (要予約) 9:00~12:00

23

診 邑智病院
河野医院

24

25

悠休館日
悠休館日

26

27

ト 芋畑集会所 9:00~10:00
田窪自治会館 11:00~12:00

28

マ マイナンバーカード時間外受取窓口 (要予約) 17:30~19:00

29

悠休館日

診 邑智病院
加藤病院

30

診 上田医院
加藤病院

- 健: 健康相談・検診
- 悠: 悠邑ふるさと会館
- 三: 三原まちづくりセンター
- す: すこやかセンター(社会福祉協議会)
- サ: 子育てサポートセンター
- 学: 学校
- 教: 教育委員会
- ト: ドクターカー巡回
- マ: マイナンバーカード窓口
- 悠: 休日診療情報 10:00~16:00 (変更となる場合があります)
- 公: 公民館
- 図: 図書館
- 保: 保育所
- 観: 観光協会

ゴミ収集

- A 地域 (木路原・日の出・上新町・中新町・下新町・元町・本町・天神町・谷・市井原・長原・矢谷・芋畑・双葉・中倉・日向)
- B 地域 (因原・三大字・多田・久座仁・谷戸・三島・笹畑)
- C 地域 (西・八幡・三原・田窪・南佐木・親和・湯谷・三俣)
- 【燃えるごみの収集日】 毎週火曜日・金曜日 (町内全域)
- 【容器包装プラスチックの収集日】 毎週木曜日 (町内全域)
- 【ペットボトルの収集日】 毎月第1・3水曜日 (町内全域)
- 【容器包装 紙の収集日】 毎月第2・4水曜日 (町内全域)



まちの歳時記

広報かわもと 3月 No.623
令和5年3月20日発行

2/18
(土)

島根中央高校卒業生交流会 【広島会場】



川本町では、県外の大学へ進学した島根中央高校卒業生の、将来的な町内・近隣企業への就職や川本へのUターンに繋げることを目的として、町との関りを創出する事業を実施しています。その取り組みとして「卒業生交流会」を2月18日（土）に広島で開催しました。
当日は、17名の参加があり、同年代同士でふるさとの話題で盛り上がりました。今後もこうした交流会を各地で開催予定です。開催の折には、県外で暮らすお子様への周知など、ご協力のほどよろしく申し上げます。

宮野見聞録



坂町人事交流職員
宮野 達輝
(まちづくり推進課)

年度末を締める6回目の宮野見聞録は、僕の1年間の振り返りについて綴ります。
新天地での挑戦に一抹の不安を抱えて川本へやって来ましたが、経験したことのない業務・一人暮らし・大雪などの環境で、毎日が新鮮な一年間でした。移住・定住業務を担当させていただくということで、「かわもと暮らし」と連携してオンラインでのイベント参加や、時には東京・大阪に足を運んで現地イベントにも参加してきました。お世辞にも自分の力で町の魅力を発信できたとは言えませんが、移住初心者立場から移住相談をされた方へのアドバイスは多少なり出来たのではないかと思います。
来年度はより川本の魅力を知って町外・県外の皆さんにPRできるよう精進してまいります。若輩者ではございますが、今後ともよろしくお願いたします。



川本町の人口

令和5年2月28日現在
※()は前月との増減

合計 3,058人 (前年同月: 3,138人)

男 1,451人 (-8人)
女 1,607人 (-7人)

うち65歳以上 1,383人
うち15歳未満 282人
世帯数 1,608戸

| | | | |
|----|--------|-------|--------|
| 増減 | 転入 4人 | 出生 1人 | その他 0人 |
| | 転出 13人 | 死亡 7人 | その他 0人 |

※ 住民基本台帳を基にした、令和5年2月中の異動状況

川本町ふるさと納税返礼品紹介

職人の手作業で仕上げたひらがな積み木

寄付金額 135,000円
提供事業者 有限会社 創修

香りのよい島根県産ヒノキから造られた「ひらがな積み木」。小さなお子様ที่安心安全に遊べるよう、一つひとつを職人が手作業で磨いています。ひらがなを覚えるだけでなく、積んだり、転がしたり、遊び方は様々です。
※ふるさと納税制度の規定により、返礼品は川本町外にお住まいの方だけにお送りしています

編集後記
本紙の担当となつてあっという間に1年が経過しました。皆様にとって興味を引くような情報をお届けできたのでしょうか。カメラの扱いにも少しは慣れてきましたが、納得のいく会心の1枚にはなかなか巡り合えません。まだまだ道半ばです。

発行/川本町 編集/まちづくり推進課
〒696-8501 島根県智度郡川本町大字川本 271 番地 3
ホームページアドレス <https://www.town.shimane-kawamoto.jp/>
この広報紙は環境にやさしい再生紙とベンジタブルインキを使用しています。
TEL.0855-72-0634 FAX.0855-72-0635
Eメールアドレス kawamoto@kawamoto-town.jp